

奥州

お知らせ版

広報おうしゅう

防災意識を高め、身の安全を確保するために

緊急速報メールを活用しよう

災害情報の入手方法には、テレビやラジオ、公式ウェブサイトを、いわてモバイルメールなどのほかに「緊急速報メール」と呼ばれる携帯電話を利用したサービスがあります。東日本大震災の余震は、今後も起きる可能性があります。日ごろから、これらの利用方法を確認しておき、災害に備えましょう。

緊急速報メールの特徴

携帯電話が情報を受信すると、専用着信音が鳴りポップアップ画面でお知らせするため、素早く情報を確認することができます。

また、配信エリア内の携帯電話へ一斉に配信されるため、通勤・通学中の人や観光で対象となる地域に滞在中の人も受信することができます。ただし、携帯電話エリア圏外に滞在中の場合は、受信できませんのでご注意ください。

日ごろから訓練を

地震はいつ、どこで起きるか分かりません。緊急地震速報が届いてから揺れが来るまでの時間は、ごくわずかです。揺れから身を守るには、自分が居る場所やその状況に合わせて、慌てずに行動することが大切です。家庭や職場、学校にいるとき、初めて訪れた場所地震が起きたとき、どのように行動したらよいかをイメージして、実際に体を動かし訓練しておきましょう。

■問い合わせ 本庁危機管理課 防災保安係(内線223)

緊急速報メールとは

緊急速報メールとは、携帯電話向けの災害情報伝達サービスで、危険が想定される地域に滞在している携帯電話に、緊急の災害情報を知らせるものです。NTTドコモでは「緊急速報『エリアメール』」、auおよびソフトバンクでは「緊急速報メール」という名称です。緊急時はこれらのサービスを利用して災害情報を入手し、身の安全を確保しましょう。

配信される情報

配信情報は次の3つです。

【緊急地震速報】

震度5弱以上の地震が発生すると推定される場合に、強い揺れが予測される地域に配信されます。

【津波警報】

気象庁が発表する津波警報と大津波警報が、対象となる地域に配信されます。

【災害・避難情報】

国や公共団体(市町村など)が、避難勧告などの緊急情報を配信します。市が配信する情報は、次のとおりです。

避難情報・指定河川洪水情報・土砂災害警戒情報・弾道ミサイル情報などの国民保護に関わる警報

利用方法

同サービスの利用には、月額使用料、通信料(パッケージ代)は無料です。事前登録は不要ですが、携帯電話の機種によっては受信設定が必要で、各携帯電話会社にお問い合わせください。携帯電話の

